

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		一宮市はとぼっぽ		公表日		2025年3月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	定員数内でもあっても、多い参加人数の時は少し狭いと感じるが、活動内容によって配置を工夫し、スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	4		欠員が埋められないまま維持されているので増員に向けていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	駐車場の出入口が開放厳禁で出入りしづらいので、雨に日は迎えに出るなど対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	登園前と降園後には消毒を行っている。職員も持ち、常時消毒できるように対応し、清潔で心地良く過ごせる環境を作っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	パーテーションで区切るなどしてスペースを作っています。	ワンルールの施設の為、十分とはいえません。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	意識向上に努め、日常的に話し合い、確認をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	全職員が内容を確認し、保護者の意向の把握に努め、話し合いをしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	意見を出し合う機会と話し合いをして、業務改善をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	療育支援事業や外部の方を招いての勉強会を通して評価を頂き、業務改善につなげています。	

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	定期的な研修の実施、外部の研修にも積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	作成し、ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者と職員で支援について話し合い、検討を行い、共通理解に努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2		「地域支援・地域連携」が十分と言えるところまで至っていない部分もあると認識している為、検討を断続的に行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	年間計画もあるが、こどもの姿、状態など検討しながら話し合いをし、決め行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	活動の目的を明確にし、こどもの姿、状態などに合わせたプログラムを日頃から話し合い、決めて進めています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	職員全員で療育開始前に打合せで、1日の流れや支援、配慮等も必ず確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	職員全員で気づき、振り返り、目的の確認や改善など共有する時間を可能な限り行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	降園後、こどもの姿など記録し、確認など話し合うことで支援の検証、改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的なモニタリングで保護者の意向や、こどもの状況を踏まえ見直しをしています。	
B4	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	保護者から今後についての意向を聞き、特別支援学校（幼稚部）など見学に同行し、一緒に考えて進めています。必要に応じて情報共有し、相互理解に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	3		就学までの在籍はいません。
		(28～30は、センターのみ回答)				

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	交流は難しいが、きょうだい児の参加できる行事や父母の会を通じて交流する機会があります。	模索中で、何らかの形で経験の場を作っていきたいと検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	親子通園のため、日頃から保護者と話し、伝えています。具体的に分かりやすく伝えるように努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	療育支援事業や、外部講師による勉強会の機会を作っています。研修等の案内は口頭や掲示で案内し参加を促しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	親子通園の為、日頃から相談など応じ支援しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	保護者同士の交流の機会を毎月行っています。父母の会の行事など職員が活動の支援をしています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	親子通園の為、日頃から相談など応じ支援しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3	予定等配布してます。また、口頭や掲示して発信してます。	HPやSNSの活用ができていない。今後、進めては行きたいと考えています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	守秘義務の遵守、書類などの持出しの禁止や管理について徹底しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		施設の特性、子どもの年齢の観点から難しい。
非	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		マニュアルの策定中もあり、出来てないもの出来ているものを整理し進めています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	4		策定済み、必要な訓練等の内容を把握し、実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	保護者に聞き取りをし確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3	保護者に聞き取りをし確認をしています。	

常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		安全計画は作成済み。必要な研修や訓練等の内容を把握し、安全管理に努めています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		安全計画に基づき、計画的に進めています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	振り返りの時間にもヒヤリハットを出し合い対策を話し合い共有をしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待委員会の実施、事業所内研修では、事例検討から対応や未然に防ぐ対応など定期的に実施しています。	外部研修にも参加していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	身体拘束について、話し合いをし確認をしています。入園時や支援計画の説明の時に説明しています。	